

# 菩提樹

平成29年度 第6号 10月22日発行

信じられないほど変われるよ

教頭

ウルトラマンごっこに夢中だった世代がすでに60代だそうです。当時、私は小学校低学年、初めて白黒テレビがカラーに変わった頃でウルトラマンの「スペシウム光線」が灰色でなく実は金色なのを知って興奮したものでした。ですが、本当に感動するのはその頃からの技術の進歩です。この番組で地球を守る「科学特捜隊」数人のメンバーしか持てなかったのは、どこでも通じる小型通信機でした。当時はトランシーバー（大きな弁当箱位でしたが）で近所と話すことさえ大変な時代、そんなことができるものかと思っていました。ところが、現在のスマートフォンは飛んでいる飛行機からでも地球の裏側まで通信でき、インターネット付きのコンピュータでもあります。おまけに高性能カメラでビデオ・テレビ再生機で、自動翻訳や人工知能まで備え、しかも誰でも持てます。想像を超えて発達した機械のひとつだと感じます。そういえば、空に浮かぶ車こそまだありませんが、昔の小学生の「未来の絵」にあった「チューブを走る高速列車」は今や津軽海峡の下を走っていますし、電気で自動運転する車や話し相手になるスピーカーも間もなく実現します。私たちは今、夢の世界にいるのかもしれません。



実はもうひとつ夢かと思うことがあります。日本の若者が世界のトップに出るスポーツが非常に増えてきたことです。野球や体操、柔道だけでなく、今やあらゆる世界で日本の若者が「世界のトップ」に躍り出ることは珍しくなくなりました。思い起こすだけでも、卓球、水泳、ゴルフ、バドミントン、フィギュアスケート、スノーボード、テニスなどが挙げられます。体格の差で100年かかっても追いつけないといわれたサッカーや陸上短距離走、バスケットボールにまで有望な選手が出てきました。何が変わったのでしょうか。

いま、5年生の社会科で「日本の工業生産」を学習中です。教科書には洗濯機が50年かけ、手絞りから乾燥機付きの最新型に発達する様子が紹介されています。これから自動車の生産の学習もしていきますが、戦後に日本が車づくりを目指し、ついにはアメリカを走る車の半分近くを日本車にしていく話も「おとぎ話」かもしれません。

さて、とりとめのないこの3つのお話の共通点は「信じられないほど変われる」です。ものだけでなく人も「変われる」存在。新しい体験に「やってみよう」と踏み出すしなやかさがあれば道は開けるといことは皆さんご存じのとおりです。成功された方の幼い時は「惜しい」「くやしい」「貧しい」などのマイナス体験がいっぱいです。「高く跳ぶには低く身をかがめなくてはならない」のでしょうか。でも、試練は後ろで幸運の女神様がほほえむ前触れかもしれません。「一歩だけ踏み出してみる勇気が大切、人間も信じられないほど変われるよ」と子供たちにも伝えていきたいと思えます。

## 「笑うこと」のすすめ

養護助教諭

毎日、子供たちのはじける笑顔を見ながら仕事をしています。以前、あるCMで「子供は1日400回笑うのに、大人になると15回に減る」ということを耳にし、少し驚きました。「私もそんなに笑っていないのか」と思い、子供達との会話で意識して笑うと、確かに元気になった感覚があります。実際に笑うことは副交感神経の働きを高め、体がリラックスし、ストレスも減るのだそうです。また、笑いには免疫力を高める効果があるという実験結果も報告されています。笑うことが心や体の健康につながることから、最近では「ラフター・ヨガ」と呼ばれる「笑いの表情」を積極的に採り入れたヨガもあります。



もともと子供は楽しいことを見つけるのが大得意、遊びにも全力です。身の周りが「面白い」であふれ、笑いの源だらけ。笑顔がだんだん減っていく大人には、うらやましい話です。子供たちの笑顔をまぶしく感じながら、大人も少し健康を意識しつつ、「笑い」を保っていけるようにしたいもの。お互いに「今日はこんなに面白いことがあったよ!」と笑いを共有しながら話せるといいですね。表情をつくるだけでも十分効果が得られるそうです。

「いいことがあったか」はさておいて、日々「笑う」こともウォーキングなどと同じように健康づくりだと意識し、実践してみるのも素敵かもしれません。

## プチ学校ニュース

### おもしろ掲示 増殖中

今年度から子供の感性や知的好奇心を向上させようと、楽しいクイズ校内掲示をたくさん採り入れています。漢字の読み方や万葉かるた、回文や俳句のヒント集など学年を越えて参加し、投票したり答えをめくってみたりするなど楽しい内容を工夫しています。おもしろいと眼がきらきら輝くのが本校児童の長所、学校中にありますので、ご来校の折はぜひご覧下さい。



0004.D - 0954225

### 家庭学習チェック週間を行います

熱気に満ちた学習発表会が終わると子供たちはほっとするのか、よく生活が乱れてしまうことがあります。11月に家庭学習チェック習慣を行い、家での学習の様子を知ることによって子供たちの学習習慣や生活リズムづくりをしたいと考えています。ご家庭でも、目の届く場所で「毎日学習する場所」をつくって頂けるようご協力をお願いします。

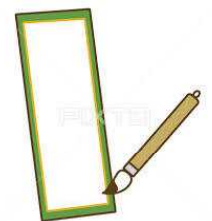


### 俳句の力、着実に

昨年度から俳句の力の向上に取り組み、少しずつ子供たちに成果が見られるようになってきました。

「季節の今を子供の目でとらえる」

「リズムや俳句ならでのおもしろさを見つける」ことなどに取り組んだ結果、各学年に良い作品が出てくるようになりました。〇〇新聞社賞、〇〇最優秀などの県や市の最の上位入賞も複数出てきています。かつては全国一位の実績もある東五位小。それにはまだ遠く及びませんが、俳句づくりを楽しむ児童も増えてきたように思います。11月には各学年で講師の先生にご指導をいただき、年度末に作品集にまとめていく予定です。



0004.D - 0954225

